

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第102号 2021年2月5日

p2

医療及び福祉施設等調査特別委員会報告

無床診療所化への道のり

和寒東山スキー場

小学校スキー授業

説明（8ページ）

- p4 新年年頭あいさつ
- p5 こんなことが決まりました コロナ対策緊急支援
- p6 無床診療所化条例可決 付帯決議提出へ
- p9 一般質問 2議員が登壇
- p11 議会改革先進地 芽室町議会とオンライン視察
- p12 町民インタビュー聞かせて 和寒小学校児童会

集中審議

調査特別委員会報告～

3月に設置 アンケート調査へ

医療及び福祉施設等調査特別委員会は、令和2年第1回町議会定例会において設置し、これまで病院診療体制照会事項や、アンケート調査そして滝上町・幌加内町への医療体制視察研修等を行なってきました。

3月17日、現在の病院と有床診療所・無床診療所とした場合の収入収支費用比較シミュレーションや、診療体制変更等を協議、町民への説明と理解が最も必要だと各委員が認識しました。

行政側は町民説明会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期し、3月19日に、「町立和寒病院の在り方について検討を進めます」と題した説明資料を全世帯に配布し、町民の理解を求めました。そして、6月23日「医療体制に関する町民説明会」を午前・午後の2回に分けて開催しました。

本特別委員会は、無床診療所化に対して、町民の意見や要望を把握するために、7月20日に全世帯にアンケート調査で意見集約をしました。

①議会への意見

★アンケートが遅かった。

★町民の意見を聞いてほしい。

★住民投票を考えるくらい大きな問題だ。

②行政への意見

★診療所ありきの話だ。

★車もなく、ひとりでは町外の病院へは行けない。

★人口減・高齢化ではやむを得ない。

③医療体制への意見

★町立病院で看取られたい。

★不安に思ふことの対応策を示してほしい。

★在宅診療など町民にやさしい医療を。

など、多くの切実な意見がありました。

8月31日に滝上町と幌加内町へ視察調査を行いました。

(調査内容は101号掲載)

10月13日には、直接医療現場に携わる町立和寒病院の山下院長と懇談し、意見交換をしました。

★在宅の往診や、リモート診療・予約制・夜間診療・休日診療も取り入れたい。

★日勤のみになれば、条件が緩和されて医師が来てくれる。

★月1回でも土別市立病院で、当直のお手伝いをしないと、芳生苑の患者を受け入れてもらえないのではないかと危惧している。

などの話が聞きました。

10月19日に行われた、北海道医師会佐古副会長の医療講演会の後に懇談会を開き、意見交換をしました。

★包括協定で連携病院を作り、月に一・二回医師が来るよつになれば、診療所を利用する患者も増えるかもしれない。

★デメリットは、直接歩いて通院する患者が遠くまで行かなければならないこと。

令和2年

委員会の動き

3月 病院・有床・無床シミュレーション等

4月 病院診療体制の回答

6月 町民説明会

7月 資料の説明等町民説明会参加

7月 町民説明会の質問・意見の報告

7月 町民アンケート実施の検討

7月 町民アンケート内容打ち合わせ

8月 町民アンケート1463世帯に配布

8月 滝上町・幌加内町医療体制視察研修

9月 町民アンケート結果分析・審議

9月 町民アンケート結果分析・審議

短期間 ～医療及び福祉施設等

**請願書を提出
安心できる医療へ**

11月13日、8回の特別委員会での審議、町民アンケート調査の内容、現場の医師との意見交換から、無床診療所化は、多くの町民が理解し、不安要因を解消しなければできないと考え、37項目の「医療体制に関する質問事項」に対しての回答への要望書を町長に提出しました。

11月20日、その質問事項の回答を協議しました。回答内容は、町民が不安視している事項に対して、明確な回答が少なかったものでした。

11月30日、さらに、11事項に絞って具体的な対応策を講じるように「無床診療所化に対する請願書」を町長に提出しました。

12月4日、請願書の回答を受け、8日に行われる町民説明会に向け、7日に内容を協議しました。

回答内容は
①常勤2名体制の維持
②土曜日などの時間外診療
③時間外ほか、他病院への

受診での交通費支給（支給額を提示）
④在宅診療・専門外来体制の構築

⑤時間外緊急搬送の強化
など、具体的な内容や、前向きな回答があったことは、一定の理解ができました。

12月8日、2回目の医療診療体制に関する町民説明会は、前日の特別委員会での請願書の審議を踏まえて行われたものになりました。出席者からは、「前回の説明会から見ると、不安内容を具体的に説明していただけて良かった」との声がありました。

町立和寒病院の無床診療所化は、全国的にも医療ス



タツフの確保が困難であることや、人事権のない議会には、行政の方針を変えることには限界がありました。

本特別委員会は、第一に町民の意見を反映し、少しでも不安材料を解決することで、多くの町民の理解を得ることを優先に調査することとしてきました。

短期間の調査ということから、無床診療所化への多くの町民の理解を得られているかは、不透明です。

今定例会で、条例の改廃に関する事件が行政から提案されますが、まだまだ、多くの町民の理解には達していないと考え、無床化条例には懸念材料も多いことから、本委員会では方向性を出さずに、民主主義での議員個々の意見を尊重することをもちて中間報告しました。

委員長

中原浩一

副委員長

酒向 勤

他委員 8名

10月

山下院長との

医療体制懇談会

19日

道医師会佐古副会長との懇談会

11月

病院診療体制

包括連携協定の説明

13日

診療所（仮称）条例原案

医療体制に関する

25日

要望書の協議

30日

委員長より町長へ

無床診療所化に

対しての請願書協議

12月

請願書提出

11月 7日

医療体制に関する

質問事項の

17日

回答内容を協議

第4回定例会で

請願書回答内容協議

第4回定例会で

中間報告の協議

新春を迎えて

和寒町議会議長 佐々木広行

謹んで新春のお喜びを申し上げます。

町民の皆様におかれましては、令和三年の新春を、ご家族お揃いでお迎えできましたことに、心からお喜びを申し上げます。

また、日頃から議員活動にご理解とご協力をいただき、議員一同、深く感謝を致しております。

さて、令和二年を振り返りますと、新型コロナウイルスの発病に端を発し、オリンピックなどの各種イベントの順延・中止、安倍政権の突如の辞任、アメリカ大統領の政権交代と総じて激動の年でもありました。

また、私も議会に於いても同僚議員でありました、伊藤 明氏の突然の急逝により議会活動にも大きな影響がありました。

基幹産業の農業については、融雪も早く播種作

業も順調であり、天候も六月に日照不足にはなりましたが、七月以降は回復傾向で、概ね平年並みの作柄となり、安堵したところであります。

兼ねてより懸案事項でありました、町立病院の診療体制については、議会としても重要案件であることから、特別委員会を立ち上げ、将来の医療体制の確保を踏まえ熟慮に熟慮を重ねて、今年四月から無床診療所への移行を令和2年第4回町議会定例会で議決したところであります。

町民の皆様にはアンケートなどにご協力を賜りましたこと、紙面にて失礼と存じますが、お礼を申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



議長 佐々木広行
副議長 中原 浩一

総務福祉常任委員会

委員長 酒向 勤
副委員長 下條 美恵
委員 中原 浩一
委員 谷口 勝弘
委員 小野田久美子

産業教育常任委員会

委員長 谷口 勝弘
副委員長 窪田 裕二
委員 中原 浩一
委員 石田 利美
委員 和田 智巳

議会運営委員会

委員長 石田 利美
副委員長 谷口 勝弘
委員 中原 浩一
委員 酒向 勤
委員 下條 美恵

議会広報委員会

委員長 谷口 勝弘
副委員長 和田 智巳
委員 下條 美恵
委員 窪田 裕二
委員 小野田久美子

議会選出監査委員

窪田 裕二

12月
定例会

あらまし

コロナ対策緊急支援 ～ 商工業者向け 追加 ～

12月定例会（第4回定例会）は、令和2年12月17日から18日にかけて開催しました。
17日は、町長の行政報告のあと、一般質問を行い2人の議員が登壇、補正予算の議案審議をしました。

【新型コロナウイルス感染症経営継続特別支援交付金】

商工業者向けに追加で交付金を支給する事業について、総額では2800万円の増額補正を可決しました。

全員協議会での質疑

問 支援金は良いが、人が動けばそれが一番良い。

答 この状況がいつまで続くのか、展望は。

問 ワクチンが出回れば人の流れも流動的になると考えている。経済も回さなければならぬ、町の事業者も守らなければならぬ。

答 すぐに答えを出せなくて申し訳ないが対応していきたい。

補正予算

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

雪寒機械の購入延期や芸術文化講演会の中に伴い、総額では1億3272万円の減額補正を可決しました。

主な質疑

問 町で使用している除雪車が古くなってきていると思うが、更新の予定は。

答 7台あるうちの3台ほどが古くなってきている。

国からの補助率が下がって更新が難しいため、高い補助率で更新できるように国へ要請していく。

18日は町立診療所条例の制定の他、条例改正の議案審議も行ないました。
なお、今定例会の傍聴者は延21名でした。

道北バスへの補助

問 道北バスから支援要請があり、589万円支出するが、今回だけなのか。

答 当初要請された額は720万ほどだったが、営業努力の結果この金額になった。

支援要請の中心になった旭川市の話では、原則今回のみ支援と聞いている。

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

インフルエンザ接種助成を一般会計で負担することに伴い、総額で41万5千円の減額補正を可決しました。

【公共下水道事業特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

下水終末処理場改修工事に伴い、総額では5077万円の減額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

保険事業勘定では5万1千円の減額補正、サービス事業勘定では47万円の増額補正を可決しました。



無床診療所化へ条例可決

～※附帯決議提出～

賛成
6

反対
2

※附帯決議とは

決された法案・予算案に関して付される、施行についての意見や希望などを表明する決議

病院の採決について

【国民健康保険和寒町立診療所条例の制定】
(賛成6名・反対2名可決)

令和3年4月から町立診療所を運営するための条例の制定を※特別多数決により可決しました。

主な質疑

問 月に1、2回専門外来をして頂きたいと特別委員会で議論していたが、どうなったか。

答 新しい医師が着任してから、別途相談し決めていく。

問 令和元年3月には無床診療所化を視野に入れ始めていたということだが、令和元年の町政懇談会などでは町から町民へどのような説明をしたのか。

答 病院の経営状況などについては資料を使い各自治会で説明した。無床診療所化の可能性についても説明している。

問 無床診療所化することによってどのぐらいの繰入金が必要になるのかシミュレーションはしたのか。

答 病院の繰入(赤字の補填)は1億5000万円ほどだったが、無床診療所化となれば1億円ほどとなる見通し。



附帯決議

【国民健康保険和寒町立診療所条例の制定に対する附帯決議】

(全員賛成可決)

診療所条例の制定に対して、附帯決議が提出者・中原から発議され、それを可決しました。

- ① 必ず医師常勤2名体制を維持し、その他のスタッフについても確保すること。
- ② 曜日を設け、時間外診療や土曜日診療を行うこと。また、専門外来も設けること。
- ③ 平日時間外や土日祝日の交通機関利用での支援策を充実させ、町民理解に努めること。
- ④ 町民の健康を守る医療体制の充実や、在宅診療の体制づくりを構築させること。
- ⑤ 入院患者の移転は家族の意向を十分踏まえて対応し、経費等の経過措置に努めること。
- ⑥ 救急搬送体制の強化を図り、町民の生命を守るよう対策をとること。
- ⑦ 無床診療所化においての、町民の理解を得るよう具体的な対策を以って説明すること。
- ⑧ その他、町民が安心して医療が受けられるよう、要望に対しては真摯に対応すること。
- ⑨ 無床診療所化しても芳生苑の入所者診療などは切り離せないことから連携に努めること。
- ⑩ 看護を要する患者対応として、ケアハウスなど中間施設を早急に検討すること。

町立診療所条例の制定について 討論がありました

討論とは…他の議員を自分の意見に賛同させることを目的とする発言。

賛成



小野田久美子
議員

議員になって最初に町長から伺ったのは患者数の減少で収益が減り経営が厳しいということだった。いつの間にかマンパワの話題になっていった。病院が無くなるというのは心苦しい。

しかしながら、コロナウィルスの関係もあり、これから更に医療従事者の確保が困難になることを考え、本来であれば2〜3年かけて議論すべきことだが、町民の安心安全を守るために賛成する。

反対



谷口勝弘
議員

診療所化を何とかやめて欲しい、病院を維持して欲しいという方は少数意見なのかもしれないが、納得して頂くことは出来なくとも、例えば病院が無くとも大丈夫だとかある程度の期間をかけて説明しなければならぬ。
町長の進め方は間違っている。病院だけではなく、他の事業でもこのような進め方を繰り返すことがあってはならないと思います、反対する。

賛成



酒向 勤
議員

ここに至るまで論点のすり替え、最後は人事と大変許しがたい。金銭の問題がいつの間にか人事になっている。納得する時間もないし町民への説明もまだまだ。

コロナ禍で大きな病院も大変苦しんでおり、医療関係者が頑張っているご時世で、大変心苦しいことばかり。
止む無しということで賛成する。

反対



石田利美
議員

質疑の中で色々質問をしたが、やはりやり方が悪いのではないかと。
不安要素が多過ぎる中、進め方も中身も整っていない。無床診療所化で繰入金が減ることは良いが、中々具体的な案が出てこない中、特別委員会から請願書を出してようやく7割ほど見えてきた状況ではまずいと思います、反対する。

賛成



中原浩一
議員

賛成討論も反対討論に近いような意見。その通りだと思う。医療スタッフの確保が困難で、結果論として無床診療所でなければいけない、また医療従事者の長時間勤務や病院の赤字もあることから、総合的に考えると止む無し。

附帯決議を出したが、その内容は重いものとして考えて頂き、更に町民の意見に真摯に対応して頂くことをお願いし、賛成とする。

条例で定められた重要な公の施設（病院など）については※特別多数議決で決することになっている。

※特別多数議決とは、議会において議長を含めた出席議員の3分の2以上の同意を得ることで可決となる議決のこと。

条例改正

【和寒町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正】

（全員賛成可決）

新型コロナウイルス感染症に対しての業務に従事した職員の感染症等防疫業務手当に関する条例の一部改正を可決しました。

【和寒町延滞金徴収条例等の一部改正】

（全員賛成可決）

地方税法の一部改正する法律が公布されたことに伴い、延滞金徴収に関する条例の一部改正を可決しました。

【和寒町奨学資金条例の一部改正】

（全員賛成可決）

奨学資金貸付の連帯保証人に関わる条例の一部改正を可決しました。

【和寒町国民健康保険税条例の一部改正】

（全員賛成可決）

個人所得課税の見直しにより、地方税法の一部改正が行われたことに関わり、和寒町国民健康保険税条例の一部改正を可決しました。

意見書

【「コロナ禍による地域経済対策を求める意見書」

議員から、地方自治体へのコロナ対策関連予算の確保や、農畜産物の需要を喚起する対策の強化、米の需給・価格安定に向けた抜本的な見直しと対策を要望する意見書が提出され、審議の結果、可決し、内閣総理大臣や関係行政庁に提出しました。

産業教育常任委員会

所管事務調査

中間報告

「農業振興について」

平成13年に、操業開始した南谷線米穀類乾燥調製貯蔵施設「米工房天塩の大地」は、高品質米生産を目的として設置した集出荷施設で、指定管理者として北ひびき農業協同組合が運営している。

令和2年5月18日、

米の受け入れ取扱数量減少に伴い、町外の小麦受け入れを可能とする条例の変更及び、施設の維持管理に必要な機械更新と新設機械設置するための、同施設基金の使用についての要望書の提出があった。

同施設の土別市・剣淵町の麦受け入れは、施設の健全な運営に向けて、和寒町稲作振興協議会・和寒地区カントリエレベーター利用協議会とも協議を行い同意があり、委員会としても承認した。

機械更新と新設機械設置は、改修費用は同施設基金を使用しない

で、過疎債を活用し補填されない3割分を北ひびき農業協同組合が負担するよう求めた。

令和2年9月2日、12月2日、第5次和寒町農業・農村振興計画について審議した。

この計画は「和寒町総合計画」の分野別計画で、具体的な農業農村の振興方策を実現するため、基本方針を定めて計画を推進することとしている。

令和2年2月には、25項目のアンケートを実施、担い手の育成・確保、施設整備・機械導入の支援、労働力の確保など、様々な意見が寄せられた。農業者の意見を反映させた本町農業の振興を実現する計画策定に期待する。

表紙の説明

和寒町のランドマークでもある東山スキー場。

今回は、小学校3・4年生のスキー授業を取材させてもらいました。

参加人数は合わせて49人、児童の滑りに合わせて5チームに分け指導していきます。

この日が、今シーズン初のスキー授業と言う事で、動きを確かめてから、リフトに乗りました。

カメラマンも、スキーを履くのは今シーズン初。リフトに2回乗りました。

コロナ禍で、子どもも先生も、カメラマンもマスク着用のスキーでしたが、みんな楽しそうに滑っていました。



小野田久美子議員



問 自治会への支援対策は

答 自治会が円滑な運営をできるよう検討

自治会への支援対策は

本年開催した議会報告会で、参加者から「少子高齢化が進み、人口減などで自治会の運営が厳しくなっている」と伺った。

現在、町内で一番多い自治会は、住民477人（世帯数224）、一番少ない自治会は、住民77人（世帯数38）であるが、今後の対策は。

奥山町長

平成20年に行政区の再編が進められ、現在の自治会制度に移行した。

それに伴い、自治会活動推進交付金制度を設け、内約としては、均等割や戸数割、高齢者福祉や自治会館の維持管理に対する交付金となっており、5年ごとに見直しを行っている。

次の見直し時期は、令和5年だが、それぞれの自治会が円滑な運営をできるよう検討する。

各自治会関係者に防災士がいることで、より安全の確保が高まるよう期待する。

○再質問

自治会未加入世帯には、広報わっさおやお知らせ版などの広報誌をどのように対応しているのか。

総務課長

配布されていないところは、町に連絡をいただき渡している。

○再質問

ここ数年、町がプレミアム付き商品券を発行している。この申込書は、事前に自治会で各戸配布しているが、自治会未加入世帯へは、どう対応しているのか。

全戸行き渡る環境を確認してみたい。

○再質問

自治会と町が連携して自治会の加入促進に取り組んではどうか。

住民課長

住民課窓口で、初めて来町された方に、転入届受付時、自治会の説明（事業、ゴミ処理など）をし、自治会役員へ、挨拶に行っていたかどうかをお願いしている。

広富副町長

プレミアム商品券は、商工会が実行委員会を作り実施し、各自治会にお願いして申込書を配布している。

どう申込書を配布したかは、商工会に確認しないとわからない。

奥山町長

プレミアム商品券は、税金を投入しているので、公平性を保つために、関係団体、実行委員会が努力している。

全戸行き渡る環境を確認してみたい。

総務課長

自治会から未加入の相談があった時、一緒に加入の対応をした。

強制ではないが、今後も自治会と加入促進の対応をしていきたい。

○再質問

町と防災士とで意見交換会を開催し、町ぐるみで防災体制を構築しては。

奥山町長

行政としてサポートは、最低限必要だと思うが、自治会で防災を考えてほしい。



▲自治会の高齢者ふれあい昼食会



▲防災についての町民自主企画公民館講座

問 こども達に集う場の提供を 答 集う場の他に学習の場も検討

問 東山スキー場の今後の運営方針は 答 引き続き運営していく

窪田裕二議員



こども達に集う場の提供を

現在、和寒町議会では、広報誌「ワットサム」を年4回発行しており、8月で100号となった。今回101号発行にて、中学生にインタビュールを行ったところ、集う場が欲しいとの要望が上がってきた。

子ども達にとって、成長する過程の中で「ちょっとしたお話ができる場所」があることで、和寒町での青春の思い出が刻まれ、郷土愛が生まれ、故郷に戻ってくる人も出てくるのではと思われるが町としての考えは。

奥山町長

放課後児童の居場所づくりについて、平成26年、町民センターに加え公民館や図書館のロビー、視聴覚室など、こども達の集う場所として開設してきた。

沓澤教育長

町長が答弁した他に、公民館1・2階ロビー、図書館ロビーや視聴覚室も開放することとし、児童生徒や保護者に

も周知している。

また、自由に遊ぶことのできる場と勉強する場は共存出来ないと考え、今後、公民館の会議室など空いている状況があれば、学習する場所として提供できるか検討する。

東山スキー場の今後の運営方針は

昭和44年、リフト付きスキー場がオープンし、令和元年をもって50年が経過した。

その後、第2リフトの増設や夜間ナイター、ジャンプ台の設置など、時代とともにスキー場の役割も大きく変わった。また、和寒町の歴史の中でもスキー場を通して、こども達にとっても、育成の場所としての大きな役割を果たしてきたと考える。

しかしながら、客層の変化や人口減少に伴う売上の減収、機材の老朽化など、お金の面でもかなり掛かると推察するが、こども達や地域の資源としても、存続は必要と考えるが町としての考えは。

奥山町長

昭和44年にオープンして以来、スキー授業や全道規模のスキー大会など開催されてきた結果、本町の歴史に残る優秀な選手も数多く輩出してきた。

一方で、道内のスキー場を取り巻く環境は、年々厳しくなってきたのも事実。

こうした中、和寒町として、スキー場の利用客を確保するため、ナイターのリフト料金や利用時間の見直しをしてきた。また、令和元年には、ヒルクライム500を開催、東山スキー場のPRにも積極的

に取組んできた。今後、町としては、東山スキー場に求められている役割も踏まえ、引き続き運営をしていく。



▲東山スキー場

○再質問

今後、運営するにあたり、設備投資としての試算は。

沓澤教育長

スキー場を維持するため、近い将来に圧雪車を更新する計画でもある。

その他に、リフトの電気系統やリフトワイヤーを定期的に交換など、合わせて圧雪車も含め2億円位掛かる。

○再質問

観光発信やふるさと納税、クラウドファンディングの活用も視野に入れては。

奥山町長

意見として受け止める。



▲修理した圧雪車

Topic議会

☆視察報告 議会活性化等特別委員会

令和2年12月11日、芽室町議会とのオンライン視察を行いました。

両議会とも、初の本格的オンライン視察でしたが、円滑な進行のもと研鑽を深めました。

芽室町議会は、都道府県や、市町村を含めた「議会改革度調査ランキング」で、2014年から2018年まで、5年連続で1位を獲得するなど、全国的に最も議会改革が進んでいる町議会です。

視察には、東京・京都・千葉・熊本・徳島などの全国各地の区議会・市町村議会・大学などが訪れていて、平成27年から平成30年までの受入れ数は、合計105団体・



1037人になります。「住民に開かれ、分かりやすく、活動する議会」をスローガンに掲げ、大学教授などから構成される議会サポーターや、町内の高校との包括連携協定の実施なども行っています。

平成12年から、議会活性化計画を策定しましたが、平成25年の議会基本条例制定時に、条例の進

行管理をするための自己評価・委員会評価・議会評価、条例を点検・見直しの必要性を感じ、さらに町民に信頼される議会を目指し「新・議会活性化計画」の策定をしました。

多くの町民へ、情報の公開と共有、意見交換を実施し、集められた意見を、それぞれの所管委員会で、調査・協議し、政策討論会を経て合意形成を行い政策提言につなげています。

提言書に、行政側がしっかりと目を通すことで、何かしらの形で100%効果があり、また、議会報告会や意見交換会などで、参加者から寄せられた意見を政策提言につなげることで、議会への信頼につなげています。

和寒町議会は、この視察を参考に、今後も町民に開かれ、意見を述べ合える議会を目指していきます。

11月30日開催

第4回町議会 臨時会

補正予算

【専決処分した病院事業会計補正予算】

町立病院発熱患者用駐車場整備工事について、250万円の専決処分した事件を承認しました。

主な質疑

問 インフルエンザが出ているのか、また発熱外来に來た後でどのような対応をしているのか。

答 インフルエンザの患者については数名検査を行なっているが、現在陽性は出ていない。

発熱外来は、電話で問い合わせの方は直接おこしいただき、一般受付でも熱があったり風邪などの症状がある方は、一旦外から発熱外来入口に入りなおして貰っている。



町民に開かれた議会を目指し、議会からの情報発信、情報公開等を積極的に行うため、一般質問の動画を配信しています。和寒町議会ホームページから閲覧することができます

<https://www.town.wassamu.hokkaido.jp/>
お問合せ：gikai@twon.wassamu.lg.jp

議会では新たにYoutubeチャンネルを開設しました。

一般質問終了後、随時動画をアップロードしていきますので、ぜひチャンネル登録をお願いします。





児童会長 高橋 響 (たかはし ひびき) さん
副会長 嶋村 楓 (しまむら かえで) さん

和寒小学校の児童会の2人に学校生活などのお話を聞かせていただきました。



▲高橋 響さん

🎤 コロナで休校中はどうしてましたか？

(高橋) 兄のバスケの練習に付き合い、兄の本を見せてもらいました。

(嶋村) 父に運動しろと言われ、家からかぼちゃ王国や、総合体育館まで走りました。

🎤 コロナ後、通常授業に戻ったけど、理解できていますか？

(高橋) まあ、ついていけています。

(嶋村) 始めは難しく混乱しましたが、今は大丈夫です。

🎤 児童会の仕事はどうですか？

(高橋) 下の学年の子が、年上を見下すので、注意するのが大変です。先輩扱いされないの……。

(嶋村) 自分は、学年が下るとき、上の学年の人が怖かったです。今は、あまり下の学年と関わらない。

🎤 休み時間は全学年、体育館で遊んでいるの？

(高橋) コロナが流行っているの、いっせいに遊べません。

学年ごとに利用時間が割り当てられています。

🎤 中学校では何の部活に入りたい？

(高橋) 運動系がいいけど、いところから、軽音楽部に誘われていて迷っています。

(嶋村) 父に運動しないとダメと言われているのと、家族がバスケットボール好きなので、やろうと思っています。



▲嶋村 楓さん

🎤 和寒町で自慢できることは？

(嶋村) 町内の人がやさしいことです。

🎤 将来の夢は？

(高橋) 親が農家をしているので手伝いたいけど、学校の先生かペットショップの店員になりたいです。

(嶋村) 父が介護の仕事をしているので、僕もやりたいです。

🎤 奥山町長への要望は？

(嶋村) 人口を増やしてほしいです。少子高齢化が進んでいるので、若い人に移住してほしいです。

広報委員の一言

2021年の幕開けは、連日の大雪で、大変なスタートになりましたが、十二支で二番目の丑年は、芽吹きを迎えようとする年と言われています。過去には人類初の宇宙飛行や、日本では、自民党から民主党へ政権交代、ハイブリット車のデビュー、コンビニエンスストアチェーン1号店出店など革新的な出来事もありました。ただ、2021年は「辛丑」かのとうしなので、痛みを伴う衰退と、新たな息吹がお互いを増強し合う年になると予想されています。

2020年はコロナ禍で、当たり前のことが当たり前ではないことを改めて思い知らされました。

未だに沢山の制約を余儀なくされていますが、いくつになっても新たに何かを始める気持ちは持ち続けたいですね。(美恵)